管機連Daily News

2026年10月9日（金）

≪ 今日の主なニュース ≫

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆4～9月の企業倒産4%増、13年ぶり高水準 人手不足理由が過去最多

・東京商工リサーチが発表した2026年度上半期（4～9月）の全国の企業倒産件数（負債額1000万円以上）は前年同期比4%増の5373件。5年連続で増加し、13年ぶりの高水準。人件費の高騰など人手不足を理由とした倒産が過去最多を更新。負債総額は24%増の8561億円。そのうち7月に破産したクレジットカード決済代行の全東信が約1割を占める。

◆8月経常黒字、12%増の4兆620億円 海外投資益の黒字拡大が寄与

・財務省が発表した8月の国際収支統計（速報）によると、海外とのモノやサービスなどの取引状況を示す経常収支は4兆620億円の黒字。黒字額は前年同月比で12.0%増。海外投資益の黒字拡大が寄与。19カ月連続の経常黒字。海外への投資に伴う利子や配当の収支を表す第1次所得収支は5兆1332億円の黒字。比較可能な1985年1月以降で最大。

◆外国人が総人口の3.1%、384万人に ベトナムが「韓国・朝鮮」超え

・2025年の国勢調査で外国人は過去最多の384万人。総人口に占める割合も3.1%と過去最高を更新。国籍別では中国が18.0%増の92万3013人で最も多い。韓国・朝鮮を抜いたベトナムが続いた。全体に東南アジアの伸びが目立つ。ベトナム人は前回20年調査から59.0%増の60万9238人だった。外国人に占める割合は15.9%と1.9ポイント上昇。

≪ 業界ニュース ≫

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆生コン出荷量8%増、9月の東京地区 大規模工事進む

・東京都心に生コンクリートを供給するメーカーで組織する東京地区生コンクリート協同組合がまとめた9月の東京地区の生コン出荷量は、前年同月比8.0%増の19万3727立方メートル。前年同月を上回るのは4カ月連続。高層ビルやマンションなど大規模物件向けの出荷が伸びた。大規模物件で建設会社が工事の進行ペースを引き上げるケースが目立っている。

◆東京23区の新築戸建て再び9000万円台 9月6.7%高、2カ月ぶり上昇

・不動産調査会社の東京カンテイが発表した9月の東京23区の新築小規模戸建て住宅の平均希望売り出し価格は、前月比6.7%高の9575万円。2カ月ぶりに前月を上回り、9000万円台を回復。敷地面積が50平方メートル以上100平方メートル未満の新築木造一戸建てについて、最寄り駅まで徒歩30分以内またはバスで20分以内の物件を対象に価格を調査。

◆製品の化学物質把握、経産省がトレーサビリティー基盤 EU規制対応

・経済産業省は廃棄物に含まれる化学物質を追跡する仕組みを整える。化学物質はリサイクルを通じて製品の材料に再生される。自動車や家電を対象に把握の基盤を構築し、将来は衣類などに広げる。再生材利用を巡る欧州の規制強化に備える。欧州連合（EU）を中心に循環型経済に関連した規制が強まっている。

≪ 注目商品 ≫

■DAIKEN、「デザイン畳おもて」を商品化し「畳コースター」を販売開始



・和紙おもてにインクジェット印刷を施すことで好みの絵柄を印刷できる「デザイン畳おもて」を初めて商品化し、「畳コースター」の販売を開始。畳コースター販売は印刷関連サービス会社を通じて実施。「和室の床材」にとどまらない畳の用途を開拓、

■三和シヤッター工業、高断熱・耐結露性能のガレージドア



・欧州のグループ会社Novoferm社製の高断熱パネルを採用。室内側と室外側の鋼板を直接接触させない熱縁切り構造とウレタンフォームにより、サッシ断熱等級H-8等級に相当する熱貫流率0.91W/㎡・Kを実現。高い断熱性能と耐結露性能を備え、ZEH住宅や寒冷地のガレージに対応。

■エディオン、防音ルームと家電で「自宅スタジオ」を提案



・音の悩みを解決し、安心して音を楽しめるプライベート空間を提案する新サービス「楽家（たのしえ）時間リフォーム」を開始。楽器の練習や動画配信、テレワーク、映画・ゲームの鑑賞など、用途に合わせた防音ルームに最新家電を組み合わせた「自宅スタジオ」を提案。